

目次

最新情報	1
新機能	2
Windows ドライバー	2
Mac OS X ドライバー	2
メンテナンス項目	2
ファームウェア	2
Windows ドライバー	2
既知の不具合	3
Windows ドライバー	3
Mac OS X ドライバー	3
ご注意	3
デジタル入力を使用する場合	3
Windows 7 64ビット版	3
Windows Vista 32ビット版／64ビット版、Windows 7 32ビット版／64ビット版	3
ドライバーおよびファームウェアのインストール方法	4
Windows	4

最新情報

本機の最新版のドライバー／ファームウェアは、下記になります。

Windows

ドライバー	: 2.03更新 (32ビット版、64ビット版)
ファームウェアアップデーター	: 2.03更新 (32ビット版、64ビット版)

Mac OS X

ドライバー	: 2.00更新無し
ファームウェアアップデーター	: 2.01更新無し

本機のドライバー／ファームウェアは、常に最新版をお使いいただきますようお願いいたします。最新のドライバー／ファームウェアに関しては、TASCAMのウェブサイト (<http://tascam.jp/>) にてご確認ください。

新機能

Windows ドライバー

V2.03 (Windows 32ビット版、Windows 64ビット版) の追加

- Windows Vista および Windows 7 の《サウンド》の設定において、《24bit》のビット長が設定できるようになりました。

V2.02 (Windows 64ビット版専用) の追加

- Windows 7 (64ビット版) に対応しました。

注意

本ドライバーは、Windows 32ビット版にはお使いになれません。
Windows 32ビット版をお使いの方は、V2.00 (32ビット版専用) ドライバーをお使いください。

V2.00 (Windows 32ビット版専用) の追加

- Windows 7 (32ビット版)、Windows Vista SP2 (32ビット版)、Windows XP SP3 (32ビット版) に対応しました。

注意

必ず上記サービスパックと一緒にお使いください。
本ドライバーは、Windows 64ビット版にはお使いになれません。
Windows 64ビット版をお使いの方は、V2.02 (64ビット版専用) ドライバーをお使いください。

Mac OS X ドライバー

V2.00の追加

- Mac OS X Snow Leopard (32ビットカーネルモードおよび64ビットカーネルモード) に対応しました。

注意

Mac OS X v10.5.8またはv10.6以上をお使いの方は、V2.00ドライバーをお使いください。
Mac OS X v10.3.9またはv10.4.11をお使いの方は、V1.13ドライバーをお使いください。

メンテナンス項目

ファームウェア

V2.03の修正

- Windowsドライバー V2.03更新に伴う修正をしました。

V2.01の修正

- パソコンの設定状況 (Windows および Mac) により、本機からパソコンにMIDIデータを出力しない場合があった不具合を修正しました。

Windows ドライバー

V2.03 (Windows 32ビット版、Windows 64ビット版) の修正

- US-144MKIIにおいて、クロックソースが《Internal》の時、デジタル出力が出力されない問題がありましたが、これを修正しました。
- US-122MKIIにおいて、主にサンプリング周波数が96kHzの時に、録音・再生音が正常でなくなる事がありましたが、これを修正しました。

V2.02 (Windows 64ビット版専用) の修正

- Cubase LE 5使用時、音声出力タイミングが実時間よりも少々早く出力される場合がありましたが、これを正しいタイミングになるように修正しました。
- Cubase LE 5使用時、MIDIの出力タイミングが実時間よりも少々早く出力される場合がありましたが、これを正しいタイミングになるように修正しました。
- コントロールパネル・アプリケーションでのデジタル出力設定が正しく機能せず、Windows Media Playerなどでデジタル出力が利用できない状況がありましたが、これを修正しました。(US-144MKIIのみ)

既知の不具合

Windows ドライバー

V2.03の不具合

- Windows Vista 32ビット版 / 64ビット版、Windows 7 32ビット版 / 64ビット版
スピーカーのプロパティのサンプルレートを変更した後、最初に Windows Media Player で曲を再生する際、曲の最初の僅かな部分（例：おおよそ150msec程度）が再生されない場合があります。再度、再生する際には問題無く再生されます。

V2.00の不具合

- アンインストール時に背景に数種の警告表示が見えることがありますが、動作には影響しません。

Mac OS X ドライバー

V2.00の不具合

- スリープ状態から復帰後、デバイス認識ができず、オーディオインターフェースの再接続（USB接続）、もしくはパソコンの再起動が必要になることがあります。

ご注意

デジタル入力を使用する場合

デジタル入力（DIGITAL IN）を使用する場合、《US-xxxx Control Panel》の《Sample Clock》（または《Sample Clock Source》）を《automatic》に設定して、接続相手をクロックマスターにしてください。クロックマスターにならない機器との接続はできません。また、デジタル入力（DIGITAL IN）とデジタル出力（DIGITAL OUT）を同時に使用するとき、《Control Panel》の《Sample Clock》を《internal》に設定するとDIGITAL INを受信することができないためDIGITAL OUTの音がそのままDIGITAL INに戻されてループノイズが発生する原因となります。コントロールパネルについては、取扱説明書をご覧ください。

Windows 7 64ビット版

《コントロールパネル》→《ハードウェアとサウンド》→《サウンドの設定》にあるスピーカーのプロパティのサンプルレートと音楽ファイルのサンプルレートが一致していない場合、Windows Media Playerではエラーが発生し、曲が再生できません。

Windows Vista 32ビット版 / 64ビット版、Windows 7 32ビット版 / 64ビット版

《コントロールパネル》→《ハードウェアとサウンド》→《サウンドの設定》からスピーカーのプロパティのサンプルレートと録音のプロパティのサンプルレートは合わせてください。コントロールパネルに表示されるサンプルレートに不一致が生じます。

ドライバーおよびファームウェアのインストール方法

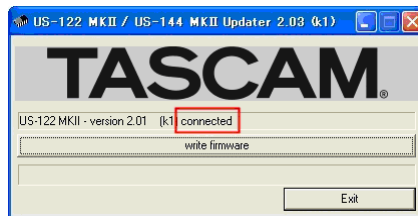
下記の記載順の通り、最新のドライバーをインストールし、それからファームウェアをアップデートしてください。

Windows

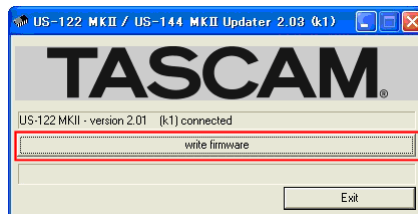
インストールを開始する前に、US-122MKIIまたはUS-144MKIIからUSBケーブルを抜いてください。

- ① TASCAMのウェブサイト (<http://tascam.jp/>) から、ご使用のOSに適した最新のドライバー (Ver.2.03ドライバー) をダウンロードし、ご使用のパソコンのハードディスクへ保存してください。
- ② 保存したドライバーの《zip》ファイルをハードディスク上へ解凍してください。
- ③ 《setup.exe》をダブルクリックして、インストールを開始してください。その後は取扱説明書に記載されている手順と同じとなります。ドライバーのインストールが完了し、パソコンの再起動が完了しましたら、次にファームウェアのアップデートを行います。

- ④ TASCAMのウェブサイト (<http://tascam.jp/>) から、《Ver.2.03ファームウェアアップデーター (Windows用)》をダウンロードし、ハードディスク上へ保存してください。
- ⑤ 保存した《zip》ファイルを解凍すると《exe》ファイルが作成されますので、《exe》ファイルをダブルクリックし、ファームウェアアップデーターを起動します。
- ⑥ US-122MKIIまたはUS-144MKIIとパソコンをUSB接続し、アップデーターの画面表示が《connected》になっている事を確認します。



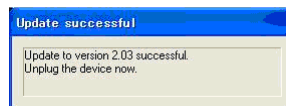
- ⑦ 《write firmware》ボタンをクリックすると、アップデートが始まります。



注意

アップデート中は、USBケーブルを抜かないでください。

- ⑧ アップデートプロセスが終了すると、下記のメッセージが表示されますので、USBケーブルを抜いてください。



- ⑨ USBケーブルを抜くと、⑧のメッセージが消えますので、《Exit》ボタンをクリックするとアップデートが完了します。再度、USBケーブルを接続すると、新しいファームウェアで起動します。

